

Title	政治地理學概論(佐藤弘著, 柁谷書院發行)
Sub Title	
Author	平山, 榮一(Hirayama, Eiichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1940
Jtitle	史学 Vol.18, No.4 (1940. 4) ,p.224(786)- 225(787)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19400400-0226">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19400400-0226</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

原著出版後の情勢の變化に對する補註や卷末の地名索引も讀者に親切である。(本文二二七頁、定價二圓八十錢。平山榮一)

### 政治地理學概論

(佐藤弘著  
柘谷書院發行)

從來邦文の政治地理學及び地政治學(ゲオポリテイク)の文獻は比較的乏しかつた。佐藤氏の『政治經濟地理學(昭和三年、古今書院發行)』(これは Reinhard, Weltwirtschaftliche und politische Erdkunde (1925) によられたものである)、飯本信之氏の『政治地理學(昭和四年、改造社發行)』(なほ同氏の政治地理學研究二卷もあるが、概論ならざる故にこゝには觸れない)、高尾常馨氏の『國家地理學概論(昭和六年、目黒書店發行)』阿部市五郎氏抄譯『ズーパン政治地理學綱要(昭和八年、古今書院發行)』及び同氏の地政治學入門(Hennig und Köhler, Einführung in die Geopolitik を中心に論述されたもの——昭和八年、古今書院發行)などが擧げられるのみである。それらの諸著はいづれも特色あり、佐藤氏のものには Reinhard の極めてよく纏まつた、圖版の豊富なる好箇の教科書的著作の紹介であり、飯本氏のものには Otto Maul の權威的な政治地理學體系により論述せられた詳密なるものであり、高尾氏のものには體系的な著述であり、更に阿部氏の兩譯書も、一は有名なる Supan の主著の紹介として、他はゲオポリテイクの手頃にして簡潔斬新なる好著の紹介として、それぞれ學界に貢獻せられたるものである。

今回の佐藤氏の著は、政治地理學の諸問題につき、最も新しき

體系的敘述を企てる意圖を以て起稿されたもので、内容も豊富で多方面に及んでゐる。組織は前掲のラインハルトにより、政治地理學の本質論より始まつて、世界の住民を述べ、本論に入つて『國の外面的特徴』として、國の形態、境界、大小、位置を論ずる。境界論は現下の問題としても極めて重要な、また興味あるものであり、古今の引例を以て最も詳細に敘述せられ、本書の最も光彩に富む部分となつてゐる。次いで『國の内面的特徴』として、國の自然的地域、國民(民族問題)、經濟生活(植民地、海洋、交通の問題も含む)にわたつて述べられてゐる。最後に附録として、ウィットフォールゲルの政治地理學論を紹介されてゐる。以上の内容の詳細にわたつて論ずる餘裕は無いが、斯學に關する最近の研究を、充分なる學的用意と明快な敘述を以て體系的にまとめられた好著として一般地理學徒は勿論、斯學の關係領域に従事する者の一讀すべきものと信じてこゝに推奨する。附表として各國植民地一覽表、資源分布狀態等の挿入あるは至便であり、卷末に詳細なる索引も附せられてゐる。

終りに通讀の際感じた二三の注文を述べることを許されるならば、本書の組版はポイント活字を使用したる横組で、地理學書としては完全に贊成するところであるが、讀者に親切なる、豊富な圖版の挿入にもかゝらず、そのあるものが、縮寫に過ぎて多少見易さを缺いたこと、全般に可成りにミスプリントの多きことが遺憾である。次に内容に就いて言へば些事であるが、二三の誤謬も氣づいた。八五頁にハドリアヌスの長城を述べたところに『その後八〇年と九〇年との間において長城・堡壘及び見張塔は皇帝

サーバルス。Severus によつて再建築されたが、五〇年間の荒廢状態にも拘はらず、再築は見事に遂行されたのでサーバルス皇帝がこの長城の創造者であるかの如く思惟される様になり：』とあるが、サーバルスとあるは Septimius Severus (193—211) 帝のことと思はれるから、名の誤讀及び年代も訂正されねばならぬ。九三頁にトラヤヌス障壁 Trajan's wall とあるは、Trajan's wall とすべく、九八頁にフォスゲス Voges とあるは、ヴォージュ山脈 (ドイツ名 Vogesen) のことであらう。なほ二七四頁にイギリスのサイプラス島獲得の年を一八七五年とあるは、一八七八年とせねばならぬ。その他一七三—一七四頁のアイランド問題の説明に於て、一九二一年のアイランド自由國成立に止まつてゐるが、これは一九三七年のアイル (Eire) 共和國成立にまで言及すべきである。以上は再版の際に改訂を希望することとして、こゝに良書を得たることを喜び紹介してをきたい。(本文三三五頁 定價三圓五十錢。平山榮一)

### 寄贈交換圖書雜誌目錄

榮光の鳥見  
尾參勢郷土史料  
濱田先生追悼錄  
日本大學文學科研究年報  
東洋文庫十五年史  
南部家文書  
尾張雜記

磯城鳥見山靈時顯彰會  
名古屋溫故會  
京都帝大考古學教室  
日本大學文學科  
東洋文庫  
吉野朝史蹟調查會  
名古屋溫故會

貞享二年漂民送還葡船長崎入津に關する大村家文書

武藤長藏氏  
名古屋史談會  
名古屋史談會三十年史  
歴史と國文學 二〇ノ五、六、七、八、十一、十二、二一ノ一、二二ノ一二

東洋思想研究所  
東京帝大史學會  
長崎史談會  
名古屋史談會  
基督教史研究會  
學叢 八  
東洋思想研究 一、二、三、四、五  
史學會誌 十五  
インド國民 一  
東洋史會紀要 三  
文化 十一  
商業の經濟 二〇ノ一  
圖書目錄 十二  
黑船 十二  
原理日本 十五ノ一  
統制經濟下の電力問題  
相武研究 九ノ二  
軍事史研究 五ノ一  
Harvard Journal of Asiatic Studies Vol. IV, Num. 1. 2. 3. 4.

西條史談會  
經濟史學會  
長崎史談會  
名古屋史談會  
基督教史研究會  
木曜會  
東洋思想研究所  
京城帝大史學會  
インド文化研究會  
東洋史會  
文化學會  
長崎高商研究會  
北京近代科學圖書館  
黑船社  
原理日本社  
電力問題研究所  
武相考古會  
軍事史學會